

## 大会運営上に関する申し合わせ事項

本大会は、(公財)日本ソフトボール協会 2026 年度オフィシャル・ソフトボールルールにより実施するが、その運営にあたっては、下記事項を本大会の申し合わせとする。

- 1 プログラムに記載した選手全員を打順表に記載すること。なお、打順表に記載のない控え選手は、当該試合に出場することはできない。
- 2 選手の集合時間  
試合開始予定時刻30分前、前試合の4回終了時。又は、得点差によるコールドゲームが終了した時に当該球場に集合すること。  
\* 3回15点、4回10点、5回7点以上の得点差場合は、コールドゲームとする。
- 3 練習は、試合及び大会運営に支障ない範囲で行うこと。
- 4 ベンチは、番号の若い方を一塁側とする。
- 5 ベンチ内での次の行為は、禁止する。  
(1) 喫煙 (会場内全てにおいて、禁煙とします。)  
(2) 携帯電話・メールの使用  
(3) 監督専用イスのベンチ内への持ち込み
- 6 試合中における競技場での投球練習は、危険防止のため1組とする。
- 7 バットはバットゲージで確認し規格以外のもの及び危険と思われるものは、大会本部で預かる (試合終了後、受け取りに来ること。)
- 8 試合中におけるサングラスの使用を認める。ただし、内野手は、つけるか外すかの判断を自身の責任の下で行い、安全性や視界に配慮する。また、監督や選手が審判員と会話 (選手交代の通告など) をする際は、サングラスを外すこと。
- 9 フィールディングは、ベンチに入ることが許される登録メンバー (監督・コーチ・選手) で行う。時間は、後攻チームより5分間とする。
- 10 試合中メガホンを使用できるのは、監督に限る。
- 11 打者は、投球間にサインの確認や素振りをするとき、打者席に片足を置いておかなければならない。
- 12 スピーディーな試合進行に努めること。
- 13 雷鳴が聞こえたときは、直ちに試合を中断し、止んでから20分後に試合を再開する。
- 14 試合が連続するときは、前試合終了30分後にフィールディングを開始する。
- 15 投手が投球姿勢 (セット) に入ったときは、両チーム (応援者も含む) は、応援のための声出しや鳴り物を使用してはならない。
- 16 監督・コーチ・選手は、スポーツマンシップ、マナーを遵守すること。また、応援者も節度ある応援をすること。
- 17 写真やビデオ撮影をする場所は、両チームベンチの外野側から外野側までの間とする。(ただし、指定したバックスクリーンの区域は、禁止とする。)
- 18 競技運営の細部については、(公財)日本ソフトボール協会が制定する「競技運営に関する注意事項」を適用する。